

平成 28 年 12 月

全国大学音楽教育学会会員 各位
関西地区学会会員 各位

全国大学音楽教育学会関西地区学会
会 長 山 岸 徹
(学会印省略)

**全国大学音楽教育学会 関西地区学会 平成 28 年度 後期研究会開催のご案内
(最終案内)**

拝啓 初冬の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、関西地区学会にお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、『全国大学音楽教育学会 関西地区学会 平成 28 年度後期研究会』の詳細が下記のように決定しましたのでご案内申し上げます。

今回は、当学会会員による9件の研究演奏発表（うち1件は中部地区学会会員）、及び

上田 豊 先生（全国大学音楽教育学会顧問・吉備国際大学教授）をお迎えしての講演を予定しております。

新年早々の開催ではございますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願いいたします。なお、研究会終了後、情報交換会も予定しております。

まずは、取り急ぎご案内申し上げます。時節柄、一層のご自愛の程、お祈り申し上げます。

敬具

記

1. 名 称 全国大学音楽教育学会 関西地区学会 平成 28 年度 後期研究会
2. 日 時 平成 29 年 1 月 8 日（日）13：00 開会（12：30 から受付、16：40 ごろ終了予定）
3. 場 所 ヤマハミュージッククリテリング大阪なんば店 2F サロン
〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江 1-2-13 TEL 06-6531-8288
※大阪市営地下鉄四ツ橋線 四ツ橋駅（5号出口から南へ徒歩3分）
4. 研究会参加費 会員 1,000 円（臨時会員 2,000 円・学生 500 円）
5. 情報交換会費 6,000 円
*お支払いは、当日受付にてお願いいたします。
*平成 28 年度の年会費（7,000 円）も未納の方は同時にお納め下さい。
なお、会費および情報交換会費などは、釣り銭のないようにご用意下さい。
5. 内 容 学会諸連絡（13：00 より）、研究演奏発表（13：15 より）、
講演（14：50 より） 講師：上田 豊 先生
演題：誰にでもできる合奏編曲法 ～保育者に求められている編曲の技術～
6. 情報交換会 17：30～「梅の花」本町店
〒541-0059 大阪市中央区博労町 3-5-1 御堂筋グラントワー 27F
*会場より徒歩約 15 分 TEL 06-6258-6533
7. 申込み方法 **12 月 24 日（土）＜必着＞**同封の返信用ハガキで研究会、情報交換会の出欠をお知らせ下さい。欠席の場合も必ずご返送下さいますようお願いいたします。
*情報交換会につきまして、キャンセルされる場合は必ず前々日（1 月 6 日）までに事務局にお申し出下さい。当日になってキャンセルされる場合は会費をいただきます。一般の方のお申し込み、お問い合わせは E メールにて下記までお願いいたします。
事務局長：永井正幸 E-mail m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp

《研究演奏発表プログラム》

1. ピアノ独奏 小谷 朋子（常磐会短期大学）
ドビュッシー作曲：「コンクールのための小品」
ドビュッシー作曲：『ベルガマスク組曲』より「月の光」
2. ピアノ独奏 田中 慈子（京都光華女子大学）
プロコフィエフ作曲：『4つの小品』 Op.4 より 第3曲「絶望」、第4曲「悪魔的暗示」
3. 二重唱 ソプラノ：伊藤 菜穂美（武庫川女子大学）、アルト：紀之定 淳規（関西女子短期大学）
ピアノ：丸井 理恵（常磐会学園大学）
山岸 徹 作曲：歌曲集『季節の彩』（二重唱ヴァージョン）より
「初恋」（島崎藤村作詩）、「木蓮」（三浦照子作詩）
4. ピアノ連弾 フリモ：久野 以早夫（東京福祉大学名古屋キャンパス）、セコンド：藤本 逸子（東海学園大学）
シューベルト作曲：『2つの性格的行進曲』 Op.121 より 第2番 ハ長調
5. ピアノ連弾 フリモ：白倉 朋子（大阪芸術大学短期大学部）、セコンド：深田 直子（大阪総合保育大学）
ドヴォルザーク作曲：『スラブ舞曲』 Op.72-1、Op.72-2
6. ピアノ連弾 フリモ：山本 敬子（大阪千代田短期大学）、セコンド：生地 加代（武庫川女子大学）
サン＝サーンス作曲：「死の舞踏」 Op.40
7. ピアノ連弾 フリモ：廣田 周子（神戸女子短期大学）、セコンド：高橋 智子（神戸女子短期大学）
フォーレ作曲：組曲『ドリー』より「ミ・ア・ウ」、「ドリーの庭」、「スペインの踊り」
8. ピアノ連弾 フリモ：古庵 晶子（京都ノートルダム女子大学）、セコンド：鷺見 美千代（園田学園女子大学短期大学部）
ガーシュイン作曲：「ラブソディ・イン・ブルー」
9. ピアノ連弾 フリモ：川畑 尚子（大阪キリスト教短期大学）、セコンド：山内 信子（関西学院聖和短期大学）
バーバー作曲：『思い出』 より 第1曲「ワルツ」、第6曲「ギャロップ」

《上田 豊 先生のご講演について》

上田 豊 先生からは、ご講演の要旨としまして次のような文章をいただいております。

誰にでもできる合奏編曲法 ～保育者に求められている編曲の技術～

上田 豊（中・四国地区 吉備国際大学）

卒業生からしばしば「生活発表会で合奏をすることになりました。曲は今人気の曲です。しかし、子どもたちのレベルに合った楽譜が見つからず困っています」という趣旨の電話を受けました。また、平成26年度東北地区学会の研究会において、パネラーの中沢幸恵（みなみ若葉幼稚園園長）先生から、幼稚園教員アンケートの設問「音楽に関する指導で困っている事、養成校時代に習いたかった・勉強しておけばよかったと感じること」の回答のトップが「合奏指導・編曲方法（30.5%）」という報告がありました。現場では、器楽合奏編曲の技術が求められていることを改めて実感しました。

上記の卒業生の電話を契機に、授業では器楽合奏の編曲法を始めていました。初期は、ピアノ伴奏つき歌曲に打楽器を加えるものでした。次は、オスティナートによる対旋律を加えました。そして、現在は、小学校の低・中学年までの合奏が可能な、小規模ながらも合奏としての完成形に取り組んでいます。それは、「大は小を兼ねる」のたとえの通りです。

1・編曲を知る：スコア → スケッチ譜 → 原曲

2・編曲の実際：原曲 → スケッチ譜 → スコア

以上について、楽譜ソフト Sibelius を活用して、実例を体感しながらお話をさせて頂きたいと考えております。
